

## 安全データシート (SDS)

作成日 2016/07/01

## 1. 製品および会社情報

製品コード RS-300  
 製品の名称 スルトン S-300酸性浸漬用

会社名 ナトコ株式会社  
 住所 愛知県みよし市打越町生賀山18番地  
 担当部門 品質保証部 品質管理グループ

製品の種類 剥離剤  
 用途と使用上の制限 アルミ製品、一般金属用

電話番号 0561-32-2285  
 FAX番号 0561-32-9506  
 緊急連絡先 0561-32-9629  
 メールアドレス hinpo@natoco.co.jp

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

|                   |                                                                  |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|
| 金属腐食性物質           | 区分 1                                                             |
| 急性毒性              | 経口 区分 4                                                          |
|                   | 経皮 区分 4                                                          |
|                   | 吸入(ガス) 分類できない                                                    |
|                   | 吸入(蒸気) 区分外                                                       |
|                   | 吸入(粉塵,ミスト) 区分外                                                   |
| 皮膚腐食性・刺激性         | 区分 1                                                             |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性    | 区分 1                                                             |
| 呼吸器感受性            | 区分外                                                              |
| 皮膚感受性             | 区分外                                                              |
| 生殖細胞変異原性          | 区分 1 B                                                           |
| 発がん性              | 区分 2                                                             |
| 生殖毒性              | 区分 1 B                                                           |
| 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) | 区分1 (血液、呼吸器、神経、中枢神経、肝臓、腎臓、心血管)<br>区分2 (該当なし)<br>区分3 (麻酔作用、気道刺激性) |
| 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) | 区分1 (血液、中枢神経、肝臓、腎臓、脾臓、心血管、消化器、胸腺)<br>区分2 (該当なし)                  |
| 吸引性呼吸器有害性         | 区分外                                                              |
| 水生環境有害性(急性)       | 区分 2                                                             |
| 水生環境有害性(慢性)       | 区分 2                                                             |
| オゾン層への有害性         | 分類できない                                                           |

## 【GHSラベル要素】



## 危険

## 【危険有害性情報】

金属腐食のおそれ  
 飲み込むと有害  
 皮膚に接触すると有害  
 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷  
 重篤な眼の損傷  
 遺伝子疾患のおそれ  
 発がんのおそれの疑い  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 眠気およびめまいのおそれ  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 水生生物に毒性あり  
 長期的影響により水生生物に毒性あり  
 臓器の障害  
 長期または反復ばく露による臓器の障害

## 【注意書き】

- 予防策** 容器を密閉しておくこと。  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対応**

|           |                                                                  |
|-----------|------------------------------------------------------------------|
| 目に入った場合   | 水で数分間注意深く洗うこと。<br>コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。<br>その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合   | ただちに医師に連絡すること。<br>口をすすぐこと。                                       |
| 皮膚に付着した場合 | 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。<br>汚染された衣類をすべて脱ぐこと。                             |
| 漏出した場合    | 漏出物を回収すること。                                                      |
- 保管** 涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
- 廃棄** 内容物や容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成、成分情報

|               |              |         |                 |  |
|---------------|--------------|---------|-----------------|--|
| 単一化学物質・混合物の区別 | 混合物          |         |                 |  |
| 化学品又は一般名      | 酸性塗料剥離剤（溶剤型） |         |                 |  |
| 別名            | —            |         |                 |  |
| 成分名           | CAS No.      | 含有量 (%) | 備考              |  |
| アセトン          | 67-64-1      | 1~5     |                 |  |
| フェノール         | 108-95-2     | 3       | PRTR法第1種 No.349 |  |
| ぎ酸            | 64-18-6      | 10~15   |                 |  |
| ジクロロメタン       | 75-09-2      | 81.8    | PRTR法第1種 No.186 |  |

## 4. 応急措置

- 目に入った場合**  
 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
 できるだけ早く医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合**  
 付着物を布にて素早くふき取る  
 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。  
 溶剤、シンナーは使用しないこと。  
 汚染された衣類を取り除くこと。  
 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 吸入した場合**  
 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。  
 直ちに医師の手当てを受けること。  
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合**  
 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
 嘔吐物は飲み込ませないこと。  
 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 応急措置をするものの保護**  
 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。  
 換気を行なう。

## 5. 火災時の措置

消火方法 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。  
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。  
指定の消化剤を使用する。  
高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。  
消火活動は風上より行う。

消火剤 炭酸ガス 泡

使ってはならない消火剤 特になし

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。  
周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。  
付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

### 環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込めおよび浄化の方法・機材

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物などは関係法規にもとづいて処置をすること。  
衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。  
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。  
大量の流出には盛土等で困って流出を防止する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 取扱い上の注意

喚気の良い場所で取り扱う。  
容器はその都度密栓する。  
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  
静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。  
工具は火花防止型のものを使用する。  
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。  
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。  
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。  
過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。  
使用済みウェス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでの間、水に漬けておく。

### 保管上の注意

日光から遮断すること。  
喚気の良い場所で保管すること。  
火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

| 成分名     | 管理濃度   | 許容濃度(ACGIH) | IARC | 備考             |
|---------|--------|-------------|------|----------------|
| アセトン    | 500ppm | 200ppm      |      | 5800mg/kg(rat) |
| フェノール   |        | 5ppm        | 3    | 317mg/kg       |
| ぎ酸      |        | 5ppm        |      | 1100mg/kg      |
| ジクロロメタン | 50ppm  | 50ppm       | 2B   | 2136mg/kg      |

## 設備対策

特に必要ない

## 目の保護具

取り扱いには保護めがねを着用すること。

## 手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

## 皮膚および身体の保護

取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類をつけること。  
衣類は化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 呼吸器系の保護

有機溶剤用防毒マスク、防塵マスク等、適切な防護マスクを着用する。  
密閉された場所では送気マスクを着用する。

## その他

静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

## 9. 物理的および化学的性質

|                 |              |
|-----------------|--------------|
| 性状              | 液体           |
| 色               | 無色透明         |
| 臭い              | 溶剤臭          |
| pH              | 1～2          |
| 融点、凝固点          | 該当せず         |
| 沸点              | 40℃          |
| 引火点             | なし           |
| 燃焼または爆発範囲の上限下限  | 15.5～66%     |
| 蒸気圧             | 58659 Pa     |
| 蒸気密度            | 情報なし         |
| 比重(密度)          | 1.25         |
| 溶解性             | 水に対してわずかに溶ける |
| n-オクタノール／水分分配係数 | データなし        |
| 自然発火温度          | 662℃         |
| 分解温度            | 情報なし         |
| その他             | 特になし         |

## 10. 安定性および反応性

## 安定性（危険有害反応可能性）

常温付近では危険な反応はしない。

## 避けるべき条件

特になし

## 混融危険物質

マグネシウムなどの軽金属、強塩基、硝酸

## 危険有害な分解生成物

高温面や炎に接触すると塩化水素が発生。  
燃焼により、CO、NO<sub>x</sub>などが発生。

## その他の危険性情報

非常に揮発しやすいので容器が膨張することがある。長期間経過すると容器が腐食して、穴が開き漏れる恐れがあるため、湿度の低い冷暗所で保管し、6ヶ月以内に使い切ること。

1 1. 有害性情報

| 成分名     | 急性毒性            |                |        |               |            | 皮膚腐食性・刺激性 | 眼に対する重篤な損傷・刺激性 |
|---------|-----------------|----------------|--------|---------------|------------|-----------|----------------|
|         | 経口              | 経皮             | 吸入(ガス) | 吸入(蒸気)        | 吸入(粉塵,ミスト) |           |                |
| アセトン    | 区分外             | 区分外            | 分類対象外  | 区分外           | 分類できない     | 区分外       | 区分2 B          |
| フェノール   | 区分4 (500mg/Kg)  | 区分3 (670mg/Kg) | 分類対象外  | 分類できない        | 分類できない     | 区分1 A-1 C | 区分1            |
| ギ酸      | 区分4 (1085mg/Kg) | 分類できない         | 分類対象外  | 区分4 (3929ppm) | 分類できない     | 区分1 A-1 C | 区分1            |
| シクロロメタン | 区分4 (1600mg/Kg) | 分類できない         | 分類対象外  | 区分外           | 分類できない     | 区分2       | 区分2 A          |

| 成分名     | 呼吸器感受性 | 皮膚感受性  | 生殖細胞変異原性 | 発がん性   | 生殖毒性   | 特例標的臓器・全身毒性・単回ばく露         |
|---------|--------|--------|----------|--------|--------|---------------------------|
| アセトン    | 分類できない | 区分外    | 区分外      | 区分外    | 区分2    | 区分3 (気道刺激性,麻酔作用)          |
| フェノール   | 分類できない | 区分外    | 区分1 B    | 区分外    | 区分1 B  | 区分1 (呼吸器,心血管,腎臓,神経)       |
| ギ酸      | 分類できない | 分類できない | 分類できない   | 分類できない | 区分2    | 区分1 (血液,肝臓,腎臓,呼吸器)        |
| シクロロメタン | 分類できない | 分類できない | 区分外      | 区分2    | 分類できない | 区分1 (中枢神経,呼吸器),区分3 (麻酔作用) |

| 成分名     | 特例標的臓器・全身毒性・反復ばく露                 | 吸引性呼吸器有害性 | 水生環境有害性(急性) | 水生環境有害性(慢性) | オゾン層有害性 |
|---------|-----------------------------------|-----------|-------------|-------------|---------|
| アセトン    | 区分2 (血液)                          | 区分2       | 区分外         | 区分外         | 分類できない  |
| フェノール   | 区分1 (心血管,肝臓,消化器,血液,腎臓,脾臓,胸腺,中枢神経) | 分類できない    | 区分2         | 区分外         | 分類できない  |
| ギ酸      | 区分1 (腎臓)                          | 分類できない    | 区分3         | 区分外         | 分類できない  |
| シクロロメタン | 区分1 (中枢神経,肝臓)                     | 分類できない    | 区分2         | 区分2         | 分類できない  |

## 1 2. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境の影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。  
容器、機械装置用を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。  
塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法規に準じて行うこと。  
廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。

### 汚染容器および包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。  
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

## 1 4. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合はそれぞれの該当法律に定められている運送方法に従うこと。

海上輸送 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 航空法に定めるところに従うこと。

|      |      |      |        |
|------|------|------|--------|
| 国連番号 | 2927 | 国連分類 | 7516.1 |
| 指針番号 | 154  | 容器等級 | II     |

## 1 5. 適用法令

### 労働安全衛生法

|            |      |                                 |
|------------|------|---------------------------------|
| 危険物        | 該当せず | 特化則（第2類物質）                      |
| 有機溶剤中毒予防規則 |      | 労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づく「がん原性指針」   |
| 第2種有機溶剤    |      | 厚生労働省通達「変異原性が認められた化学物質の取扱いについて」 |
| 通知物質       | アセトン | フェノール                           |
|            |      | ぎ酸                              |
|            |      | ジクロロメタン                         |

### 消防法

非危険物

### 化学物質管理促進法

第1種指定化学物質

## 1 6. その他の情報

### 参考文献

(社)日本塗料工業会作成 GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]  
化学工業日報社 13599の化学商品  
医師薬出版(株) 産業中毒便覧

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報、取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。